

その他の医療保健業におけるその他の起因物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	6~7	ご利用者の居室にて起床介助をしていた際に、ご利用者が動かれ転倒されそうになったのを支えた結果、腰に激痛がはしり負傷した。	60~29	10
3	10~11	清掃作業中に移動したところ、テーブルの脚に足を引っ掛け後ろに転倒し、床に尻もちをついた。	609	1~
4	11~12	院内のレントゲン室内にて患者の猫のエコー検査中に、猫が嫌がり右手を噛んだ。	989	1~
5	17~18	整骨院において患者の臀部分を施術中、左腕の肘を用いて患部に体重をのせた際に左肩に電気が走った様な強い痛みを感じた。	2299	50~
6	18~19	利用者用食堂の入口で、利用者を誘導中に、後ろを横切った利用者が転倒しそうになったので、後手で支えようとしたが支え切れず、腰を捻ってしまった。	39~299	100
7	16~17	デイケアを利用されている方を自宅へ夕方送って行く。立位困難の方で常時車椅子を利用している。自室へお連れし、ベッドの右側に車椅子をつけ、両腕で抱きかかえてベッドに上げる。その時背中を軽くひねった。すぐには痛みはなかったが後日動くのが厳しい状況になった。	70~299	100
10	10~11	隔離室入室中の患者様の開放時間が到来したため隔離室前に行き、中で扉前で待っている患者様を目視し、扉を開きかけた時、内側より患者様が飛び出すように勢いよく扉を押され、右手を強くぶつけてしまい受傷した。重度知的障害の患者様で	25~299	100

あるため責任を問うことはできない。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html